



## 魅力・特色ある授業紹介③：「日本の文化」～体験を通して学ぶ和の伝統～

「吉川高校生の成長物語」第18回は、学校設定科目「日本の文化」（3年生選択科目）の紹介です。この授業では、年中行事や通過儀礼に関する座学だけでなく、百人一首や将棋、茶道、生け花、畳、三木金物、和食等について、実際に興じたり製作したりと、和の伝統文化に触れる貴重な体験を通じて、生徒は実に多くのことを学んでいます。

### 茶道師範に学ぶ



6月24日、本校の生花・茶作法講師である寺西裕子さんにご指導いただきました。お辞儀の仕方、掛け軸「和敬清寂」の鑑賞、生け花（ホタルブクロ）の鑑賞、お茶の点（た）て方・いただき方、季節感のある和菓子…。ほんの一時でしたが、「もてなしの文化」に接し、豊かでやさしい気持ちになることができました。

### 畳職人に学ぶ

講師は地元の畳職人 戸田侘さん。9月30日は作業場を訪ねました。製作工程について講義を受けた後、様々な畳の重さを体感・比較しました。10月7日は本校でのワークショップ形式でした。畳屋としての侘さんの誇りある一生について、息子昌樹さんから話をうかがった後、畳表に使われる藁草（イグサ）を編んで小物飾りを作りました。素材を編むという技術を直に感じられました。



### 鍛冶職人に学ぶ

講師の田中誠貴さんは本校卒業生です。「鍛冶のまち」三木市の中でも唯一、「鍛造」（たんぞう＝金属をハンマーで叩いて圧力を加えることで強度を高め、目的の形状に成形する技術）から手作業で包丁を作り上げることができる職人で、世界の料理人らにその名が知られる方です。10月21日、職場の田中一之刃物製作所を訪ねました。古くからの鍛造の実習をさせていただくという極めて貴重な体験でした。次回11月11日は、三木刃物（ナイフ）で竹を加工し、オリジナルの花生けを製作する予定です。



### こちらは「新・日本の文化」？ “伊藤園 お〜い お茶 新俳句大賞” に2名入賞

1989年（平成元年）に始まった伊藤園の新俳句大賞。「日本文化の核をなすお茶と俳句の蜜月を取り戻し、今の時代に形を変え、次世代と世界へ発信していく活動」（伊藤園公式webページより）とのこと。第三十三回には19万6,459句もの応募があり、本校2年生女子2名が佳作特別賞に入選しました。昨年度、国語総合の授業で創作した作品です。11月1日、賞状とともに本人の作品がラベルに印刷されたお茶が学校に届きました。入賞した2作品を紹介します。

\* 真っ黒な森を照らす秋の月

\* 運動会録画録画とあせる父



兵庫県立 吉川高等学校

Yokawa High School

〒673-1129 三木市吉川町渡瀬300-12

Tel 0794-73-0068 Fax 0794-73-0167

